

日本有数のカーネーション産地・西尾市で 4月下旬より出荷ピーク 母の日向けに1日20万本

JA西三河管内の西尾市では、5月14日の母の日に向けて、カーネーションの出荷が最盛期を迎えます。西尾市は年間生産量2,466万本と、日本でもトップクラスのカーネーション産地（市町村単位）です。

出荷ピークは4月下旬から5月上旬にかけての約2週間。この間に、JA西三河の営農センター3か所では1日平均で約20万本を選花・集荷します。また、個々のカーネーション生産者も盛んに収穫・選花を行い、市場へ出荷を行います。

今年のカーネーションは、昨年9月の日照不足の影響から生産量が落ち込み気味ですが、今後の日照量次第では回復の見込み。好天が予報されている4月に期待をかけています。

（作柄は今後の気候により変動しますのでご了承ください）



JAの選花施設の風景
パート選花員が花を切りそろえ、
箱詰めする

西尾市のカーネーション生産概要（2015年度）

生産規模：48戸・21.1ヘクタール 生産量：約2466万本
※全国生産量2億7000万本、約9%が西尾産



カーネーションを収穫する生産者
需要の多いこの時期にあわせて
多く出荷できるよう調整しています

■メディア対応日■

【日時】4月26日（水）午前10時30分集合

【集合】JA西三河 池田センター

西尾市一色町池田東八反15（TEL：0563-72-9533）

※池田センターでの選花のほか、管内農家でのカーネーション収穫の様子をご覧いただけます（収穫風景を撮影する場合は、午前9時までに池田センターへお越しください）。

※収穫風景を取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の岡田まで前日までにご連絡ください。なおご連絡のない場合、生産現場へご案内できかねる場合がございますのでご了承ください。



赤いカーネーション「エクセリア」
贈り物の定番として愛されています

■思いを伝えよう カーネーションの花言葉■

母の花として知られているカーネーション。その花言葉は色によって異なるのをご存知でしょうか？

母の日のプレゼントとしてよく知られる赤いカーネーションは「母の愛」「母への愛」。亡くなった母親に生前の感謝をこめて手向ける白いカーネーションは「私の愛情は生きている」と少しセンチメンタル。ピンクは「感謝の心」、オレンジは「熱愛」など様々です。